

都市再生整備計画(第1回変更)

こおりまちれきしてきふうちいじこうじょうちく
桑折町歴史的風致維持向上地区(第2期)

ふくしまけん こおりまち
福島県 桑折町

令和6年10月

事業名	確認
都市構造再編集集中支援事業	☐
都市再生整備計画事業(社会資本整備総合交付金)	☒
都市再生整備計画事業(防災・安全交付金)	☐
まちなかウォークアブル推進事業	☐

都市再生整備計画の目標及び計画期間

様式(1)－②

都道府県名	福島県	市町村名	こおりまち 桑折町	地区名	こおりまちれきしてきほうち い じこうちうち く だい き 桑折町歴史的風致維持向上地区(第2期)	面積	490	ha
計画期間	令和	6	年度	～	令和	10	年度	
					交付期間	令和	6	年度
						令和	10	年度

目標
○悠久の「歴史」「自然環境」や「旧街道の町並み」に魅力を感じ、来訪者が「訪れて楽しい」「住んでみたい」と思えるまちづくり、町民が地域に愛着と誇りを持ち「住み続けたい」と思えるまちづくりを目指します。 ・「歴史」に彩られた趣のある景観を楽しむ周遊できる魅力と活気あふれるまちづくり ・「かわ」と「桃源郷」が織り成す美しい景観や歴史探訪、自然体験、農業体験を楽しむ周遊できるうおいあるまちづくり ・町民や来訪者が集い賑わいあふれる趣のあるまちなかづくり
目標設定の根拠
まちづくりの経緯及び現況 ○現況 桑折町は、福島県の中通り北部に位置する人口約11,000人、面積42.97km ² の町です。 南北に東北新幹線と東北本線が並行して縦走しており、また、東北縦断自動車道と国道4号が縦断しているなど、交通の要衝の地となっています。令和3年には相馬福島道路が全線開通したことにより、都市群との広域的な連携促進が期待されています。 町の基幹産業は農業であり、米や果物の栽培が主流となっています。特に、阿武隈川の旧氾濫原を中心に栽培されている桃は上質で、平成6年から30年連続で皇室に献上されています。 ○まちづくりの経緯 本格的な人口減少社会の到来により、まちづくりの主役となる「人」が減少するとともに都市機能の郊外化が進み「人」をまちなかに呼び込むことが難しくなってきました。 本町の中心市街地についても高齢化や後継者問題による空き店舗や空き家の増加、度重なる地震(東日本大震災、福島県沖地震)による旧街道沿いの土蔵群の消失による空地の増加など、空洞化に歯止めがかからない状況となっています。 このような状況を打開すべく、歴史資源(桑折西山城跡を中心とする伊達氏発祥の地の史跡群や江戸時代に奥州街道と羽州街道の分岐点として栄えた「桑折宿」等)や、自然資源(現在は桃源郷とうたわれる高品質なモモなどを生産する阿武隈川氾濫原の果樹畑等)の活用により町の活性化を図るために「桑折町歴史的風致維持向上計画」を策定しました。また、この計画には阿武隈川の水辺環境の保全について、国、町、地域住民との連携で立案した実現性の高い河川や水辺の整備・利活用の「かわまちづくり計画」についても盛り込まれています。 都市再生整備計画の各種事業に取り組むことで、地域の特性を活かした「こおりならではの」まちづくりを推進いたします。
課題
【交流人口の拡大】 ・定住人口や交流人口が流動的な現在の都市間競争の中で、本町特有の歴史資源や恵まれた自然資源を活かした独自のまちづくりを推進し、交流人口の拡大による賑わいの創出及び定住人口の維持を図ることが喫緊の課題となっています。 【歴史資源・自然資源の活用】 ・かつて舟運の河岸が設置されていた「阿武隈川」と、廻米用の米や大豆の保管用の蔵(庫)場があった「旧桑折宿」は密接な関係にありましたが、その認識度が低いため、歴史的風致の維持と交流人口の拡大のために、「かわ」の水辺空間や氾濫原に広がる「桃源郷」を活用し、改めてまちなかとの連携を図る必要があります。 【周遊性の向上】 ・各歴史資源などの案内板・説明板などは老朽化が進むとともに、デザインも統一されていないため、周遊性が低く、来訪者数の増加につながっていません。 ・旧街道沿いのルート上には、来訪者に町の歴史を案内するガイダンス施設や、散策の途中で休める場所が無く、利便性や周遊性が低い状況にあります。 ・町内に分布する歴史資源・自然資源は距離が離れており、車での来訪者が多いため、駐車場の整備や地域資源をネットワーク化する案内板等の設置などにより、回遊促進を図る必要があります。 ・阿武隈川氾濫原に広がる果樹地帯「こおり桃源郷」には、春に桃の花が醸し出す田園景観を背景に誘客促進イベントが行われ多くの方々が訪れていますが、イベントからの各地域資源への回遊性は低い状況となっています。
将来ビジョン(中長期)
・桑折の風土や歴史的背景を踏まえた「桑折町歴史的風致維持向上計画」では、伊達氏発祥、桑折宿と祭礼、西根堰や阿武隈川の水辺の歴史など多角的な検証による桑折の歴史的な重要性が改めて見直され、歴史的風致の維持向上に係る計画に沿った事業の推進に取り組んでいます。また、同計画でも位置づけられている阿武隈川の氾濫原における「こおり桃源郷」を含めたピーチラインの形成が農業事業で進められるとともに、「桑折地区かわまちづくり計画」によって阿武隈川の沿川整備が進められることとなり、歴史的背景と自然を活かし、まちなかを結ぶ桑折町の観光ネットワーク形成を目指しています。

都市再生整備計画事業の計画 ※都市再生整備計画事業(社会資本整備総合交付金、防災・安全交付金)において、以下の項目が該当する場合に記載すること。それ以外の場合は本欄を削除すること。							
都市のコンパクト化の方針 ※都市再生整備計画事業(社会資本整備総合交付金、防災・安全交付金)の施行地区要件において、観光等地域資源活用支援型もしくは防災拠点・郊外支援型を適用する場合に記載すること。それ以外の場合は本欄を削除すること。 当該市町村における都市のコンパクト化の方針及び当該区域の整備が都市のコンパクト化と齟齬がないとわかる内容を記載。							
本町のコンパクト方針は、町総合計画「献上桃の郷こおり未来躍動プラン」における町の将来像に則した機能集約を図るとともに、町民の生活と町外から訪れる人々の活動を支える拠点・軸及び伊達桑折IC周辺のポテンシャルの高まりを活用する新たな拠点がそれぞれ連携した、機能の効率化によるコンパクトで将来に向かって持続可能な町づくりを目指すものです。							
当該区域の整備については、町総合計画「献上桃の郷こおり未来躍動プラン」において、町の将来像を長期的に見据えた6つの重点プロジェクトの一つ『「心地いいまち」推進プロジェクト』の中で、歴史的風致維持向上計画の推進が位置づけられており、歴史資源・自然資源の整備や各スポット間の周遊ネットワークの形成により、まちなかへの周遊性向上を図るなどの各種施策に取組むとしています。							

目標を定量化する指標							
指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	
						目標値	目標年度
入館者数	人／年	町のシンボリック建造物である旧伊達郡役所の入館者数	歴史資源・自然資源の整備・活用により魅力の増進を図り、来訪者の増加を図る。	11,340人	R5	13,500人	R10年度
歩行者数と自転車数	人・台／12h	まちなかの中心軸である旧奥州街道((一)県道国見福島線)の休日(昼間)の歩行者数と自転車数	歴史資源・自然資源の整備や各スポット間の周遊ネットワークの形成により、まちなかへの周遊者の増加を図る。	1,562人	R5	1,930人	R10年度
				152台	R5	290台	R10年度
まちづくり満足度	%	アンケート調査における満足度のうち、「町の魅力PR(観光・物産振興等)」に対する住民満足度 (%)	来訪者を迎え入れる中核施設として観光交流センター等を整備することにより、観光機能に対する町民満足度を高める。	35%	R1	50%	R10年度

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
①歴史資源の整備・活用による交流促進 ・町が誇る「旧伊達郡役所」「史跡桑折西山城跡」「万正寺の大力ヤ」など、歴史資源周辺の道路改良やサイクルスタンド、案内板等の整備等を推進することで、来訪者のアクセス性、回遊性の向上を図り、交流人口の拡大を図ります。 ・案内板の更新等により、観光に適した案内板に改修することで来訪者の周遊を促進します。 ・歴史・観光案内機能を持つガイダンス施設「観光交流センター」を整備し、交流人口の拡大及び町内全体への周遊促進を図ります。	【基幹事業】 ・道路:町道2152号線(F1案内板整備) ・公園:陣屋の杜公園(照明施設・トイレ等整備) ・地域生活基盤施設:万正寺大力ヤ外(サイクルスタンド整備)、歴史の小径(看板改修整備) ・高質空間形成施設:旧伊達郡役所～陣屋の杜公園(カラー舗装) ・高質空間形成施設:旧伊達郡役所(照明施設整備) ・既存建造物活用事業:桑折西山城跡ガイダンス施設(高次都市施設) 【基幹事業】 ・道路:町道2152号線(陣屋坂) 【提案事業】 ・事業活用調査:事業効果分析調査 【基幹事業】 ・地域生活基盤施設:旧伊達郡役所外(案内板改修等) 【提案事業】 ・事業活用調査:事業効果分析調査 【基幹事業】 ・高次都市施設(観光交流センター):桑折町歴史観光交流センター(仮称) 【提案事業】 ・事業活用調査:事業効果分析調査 【関連事業】史跡桑折西山城跡整備事業、歴史案内人育成事業、歴史・文化財を活かしたまちづくり推進事業
②「かわ」の歴史と水辺資源を活用した交流促進 ・阿武隈川と旧伊達郡役所をつなぐサイクリング案内誘導整備により、歴史資源を相互に連携させるネットワークの形成を図り、来訪者の周遊を促進します。 ・阿武隈川の水辺資源を活かした魅力的な空間を創出するとともに、周辺環境整備を行うことで交流人口の拡大を図ります。 ・美しい景観を活用した周辺散策イベント等に加え、水辺空間を活用した新たな自然体験イベント等を実施し、交流人口の拡大と周辺地域の賑わい創出を図ります。 ・ウォーキング・サイクリングルートの設定やイベントの実施により周遊を促進します。	【基幹事業】 ・高質空間形成施設:陣屋坂～阿武隈川(サイクリング案内誘導整備) 【提案事業】 ・事業活用調査:事業効果分析調査 【関連事業】阿武隈川親水護岸整備事業、阿武隈川散策路整備事業
③良好な町なみ整備 ・歴史的な町並みを形成している旧街道に繋がる道路を整備し、周遊性の向上や賑わい創出を図ります。	【基幹事業】 ・道路:町道3018号線(梁川新道)、町道203号線(桑折駅前) 【提案事業】 ・事業活用調査:事業効果分析調査 【関連事業】役場新庁舎建設事業、旧庭園を活用した広場整備事業、町内立地企業従業員寮建設事業、「ここにしかない複合施設」誘致事業、旧役場庁舎敷地利活用事業、駅前駐車場有料化事業
その他	
○歴史資源の整備・活用と良好な町並み景観の形成による交流促進 「桑折西山城跡整備計画」に基づき、史跡桑折西山城跡整備事業が進んでいます。また、桑折町歴史案内人育成講座を修了したボランティアガイドの活躍や、毎年開催している歴史まちづくり講演会には多くの町民が参加しているなど、歴史的風致への理解が高まっています。 ○「かわ」と「桃源郷」が織りなす景観、歴史、水辺資源を活用した交流促進 「阿武隈川氾濫原と果樹栽培に見る歴史的風致」については、都市計画マスタープランにおいても「水辺と桃の資源を活かしたグリーンツーリズムの拠点づくり」を目標に掲げており、これまでに阿武隈川と春の桃の花が織りなす景観を活用したイベント(「ピーチロード」を歩くイベント、満開の桃畑でのバーベキューイベント、サイクリングイベント)や、カヌー体験、健康ウォーキングイベントなど四季を通して様々なイベントが行われています。 また、平成30年3月に「桑折地区かわまちづくり計画」が登録され、令和元年度から国土交通省により親水護岸整備事業、高水敷整正、散策路整備事業(管理用通路兼用)など、水辺空間形成の円滑な推進が計画されているため、町も同時に事業を計画し、相互に整備効果を高める必要があります。 旧河川の氾濫原にある食と農の交流体験や観光案内の拠点施設「レガレーこおり」には、地元食材を使った料理(ピザ)の飲食や調理体験、地元農家が栽培した野菜の直売市(マルシェ)、農業体験を目的に、町外から多くの方が訪れ賑わっているため、桃源郷周辺の環境整備を行うことにより連携を強め、桃源郷や桑折宿への周遊促進を図っていく必要があります。	

目標を達成するために必要な交付対象事業等に関する事項(都市再生整備計画事業(社会資本整備総合交付金))

様式(1)-④-2

交付対象事業費	803.0	交付限度額	326.0	国費率	0.406
---------	-------	-------	-------	-----	-------

(金額の単位は百万円)

事業		事業箇所名	事業主体	直／間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体 事業費	交付期間内 事業費	交付対象		費用便益比 B／C	
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度			うち官負担分	うち民負担分		事業費
道路		町道2152号線(陣屋坂)	桑折町	直	370m	R9	R10	R9	R10	71.8	71.8	71.8		71.8	-
道路		町道3018号線(梁川新道)	桑折町	直	93m	R8	R9	R8	R9	15.6	15.6	15.6		15.6	-
道路		町道203号線(桑折駅前)	桑折町	直	20m	R7	R9	R7	R9	12.1	12.1	12.1		12.1	-
道路		町道2152号線(F1案内板整備)	桑折町	直	1基	R8	R8	R8	R8	3.4	3.4	3.4		3.4	-
公園		陣屋の杜公園(照明施設・トイレ等)	桑折町	直	1箇所	R8	R9	R8	R9	24.2	24.2	24.2		24.2	-
古都保存・緑地保全等事業															
河川															
下水道															
駐車場有効利用システム															
地域生活基盤施設	自転車駐車場	万正寺大カヤ外(サイクルスタンド整備)	桑折町	直	5箇所	R10	R10	R10	R10	3.9	3.9	3.9		3.9	-
地域生活基盤施設	情報板	歴史の小径(看板改修整備)	桑折町	直	7基	R6	R6	R6	R6	1.3	1.3	1.3		1.3	-
地域生活基盤施設	情報板	旧伊達郡役所外(案内板改修等)	桑折町	直	2基	R6	R6	R6	R6	1.5	1.5	1.5		1.5	-
高質空間形成施設	緑化施設等	旧伊達郡役所～陣屋の杜公園(カラー舗装)	桑折町	直	200m	R9	R9	R9	R9	1.9	1.9	1.9		1.9	-
高質空間形成施設	緑化施設等	陣屋坂～阿武隈川(サイクリング案内誘導整備)	桑折町	直	5km	R9	R10	R9	R10	8.0	8.0	8.0		8.0	-
高質空間形成施設	緑化施設等	旧伊達郡役所(照明施設)	桑折町	直	1箇所	R8	R8	R8	R8	9.5	9.5	9.5		9.5	-
高次都市施設	地域交流センター														
	観光交流センター	桑折町歴史観光交流センター(仮称)	桑折町	直	1棟	R3	R9	R6	R9	619.3	559.3	559.3		559.3	-
	まちおこしセンター														
	ワーケーション拠点施設														
	子育て世代活動支援センター														
	複合交通センター														
既存建造物活用事業	高次都市施設	桑折西山城跡ガイダンス施設	桑折町	直	1棟	R8	R9	R8	R9	86.5	86.5	86.5		86.5	-
土地区画整理事業															
市街地再開発事業															
住宅街区整備事業															
バリアフリー環境整備事業															
優良建築物等整備事業															
住宅市街地総合整備事業															
街なみ環境整備事業															
住宅地区改良事業等															
都心共同住宅供給事業															
公営住宅等整備															
都市再生住宅等整備															
防災街区整備事業															
エリア価値向上整備事業															
誘導施設相当施設	医療施設														
	社会福祉施設														
	教育文化施設														
	子育て支援施設														
	元地の管理の適正化														
合計										859.0	799.0	799.0	0.0	799.0	…A

提案事業														
事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直／間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体 事業費	交付期間内 事業費	うち官負分担	うち民負分担	交付対象 事業費
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度					
地域創造支援事業														
事業活用調査	事業効果分析調査	-	桑折町	直	-	R10	R10	R10	R10	4.0	4.0	4.0		4.0
まちづくり活動推進 事業														
合計										4.0	4.0	4.0	0.0	4.0
												合計(A+B)		803.0

[illegible]

桑折町歴史的風致維持向上地区(第2期)(福島県桑折町)	面積	490 ha	区域	福島県伊達郡桑折町字赤川原、字上町、字和尚堂、字落合、字仮屋、字北町、字桑島一・二・三・四・五、字庫場、字沢、字三角、字佐野、字芝堤、字陣屋、字新町、字新吉町一・二丁目、字下釜、字砂子沢二・三・四、字諏訪、字堰合、字館、字寺坂一、字道場前、字西大隅、字西段、字西町、字東大隅、字東段、字町裏、字本町、字寺坂二、字南町、字新和町 大字平沢・成田・万正寺・上郡・下郡・伊達崎・南半田・谷地の一部
-----------------------------	----	--------	----	--

